

第61回国立大学法人名古屋大学経営協議会議事要旨

日時 平成30年6月22日（金）14時30分～16時50分
場所 名古屋大学ナショナルイノベーションコンプレックス3階大会議室
出席者 (学内委員) 松尾総長, 渡辺, 松下, 木村, 上月の各理事,
(学外委員) 柴田委員, 内山田委員, 丹羽委員, 齋藤委員, 松本委員, 川口委員, 坂井委員
(陪席) 郷理事, 前島副総長, 木俣副総長, 和田副総長, 藤巻副総長, 熊田監事, 中谷監事
(事務局) 事務局各部長, 事務局関係職員等

議事に先立ち、前回の議事要旨（案）について確認があり、これを了承した。

1 審議事項

(1) 平成29年度実績報告書について

前島副総長から、国立大学法人評価を受けるため、文部科学省国立大学法人評価委員会へ提出する平成29事業年度に係る業務の実績に関する報告書案について、概要資料1（1）に基づき説明があり、審議の結果、これを了承した。

次いで、総長から、本件は6月末日までに文部科学省へ提出し、その後、国立大学法人評価委員会によるヒアリングを夏に受け、評価結果は11月頃に通知される予定である旨付言があった。

(2) 平成29年度決算について

木村理事から、平成29年度財務諸表等決算関係について、概要資料1（2）に基づき説明があり、審議の結果、これを了承した。

(3) 平成31年度概算要求について

木村理事から、平成30年度概算要求事項及び平成30年度施設整備費概算要求事項について、概要資料1（3）に基づき説明があり、次いで、松下理事から、東海国立大学機構（仮称）Academic Central 構想について、藤巻副総長から、国際高等研究機構（仮称）について補足説明があった後、審議の結果、これを了承した。

また、学外委員から、東海国立大学機構（仮称）Academic Central 構想について、入試に関する有用な連携について要望があり、今後、検討することとした。

(4) 生命農学研究科と西オーストラリア大学との国際連携生命農学専攻の設置について

藤巻副総長及び川北生命農学研究科長から、生命農学研究科と西オーストラリア大学との国際連携生命農学専攻の設置について、概要資料1（4）に基づき説明があった後、審議の結果、これを了承した。

また、学外委員から、入学定員の増加と修了者の活躍の場を設けるよう要望があり、今後、検討することとした。

2 報告事項

(1) 平成29年度学部卒業生・大学院修了者等の進路状況について

木俣副総長から、平成29年度における学部卒業生・大学院修了者等の進路状況について、概要資料2（1）に基づき報告があった。

(2) 平成30年度学部・大学院入学試験状況について

木俣副総長から、平成30年度学部・大学院の入学試験における入学者数等について、概要資料2(2)に基づき報告があった。

また、学外委員から法科大学院の状況について質問があり、総長から説明があった。

(3) 大学院の収容定員の充足率について

松下理事から、大学院学生在籍状況及び大学院収容定員の充足率について、概要資料2(3)に基づき報告があった。

(4) 外部資金の受入状況等について

藤巻副総長から、平成29年度における外部資金の受入状況等について、概要資料2(4)に基づき報告があった。

(5) 名古屋大学基金について

木村理事から、名古屋大学基金の状況について、概要資料2(5)に基づき報告があった。

3 懇談

総長から、東海国立大学機構(仮称)について懇談したいとの提案があり、席上配付資料に基づき説明があった後、意見交換を行った。

また、懇談の中で「一法人複数大学制度による自律分散型マルチ・キャンパスシステムの実現に向けた要望書(案)」を文部科学省に提出することについて審議し、これを了承した。

□次回経営協議会の開催予定について

総長から、第62回経営協議会を平成30年10月25日(木)に開催予定である旨案内があった。

以上